

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の指導について

羽島市立竹鼻小学校

令和5年4月18日に第6学年を対象として行われた全国学力・学習状況調査の結果と、今後の指導について、以下のように公表します。

平均点について、国語では、全国平均をやや下回り、県とほぼ同程度でした。算数では、全国・県の平均をやや下回る結果となりました。

1. 国語

①領域ごとの結果

- ・情報の扱い方に関する事項の正答率は、全国の平均正答率と比べて高かった。
- ・「読むこと」「話すこと・聞くこと」では、全国の平均正答率と比べてやや低かったものの、大きな差はない。しかし、「以外」「期間」の書き取りで、無回答が目立った。
- ・「書くこと」の領域においては、かなり課題の残る結果となった。設問に選択肢のある場合はある程度選ぶことができるが、指定の文字数で「書く」問題になると、正答率が下がる。無回答も目立つ。時間が足りなかった場合と、あきらめてしまった場合があると考えられる。

②今後の指導

- ・「書くこと」に関して、普段から自分の思いを書き出す場を位置付けるようにする。各学年の教科書にある「書くこと」の指導に力を入れるのはもちろんのこと、行事の振り返りや生活する中での思い、調べたことのまとめなど、意図的に「書く」活動を取り入れるようにする。
- ・漢字の学習については、自主学習や家庭学習だけに委ねるのではなく、授業の中でも指導を継続する。新出漢字そのもののみを扱うのではなく、実際に使われる熟語や文章の中での使われ方などを意識させ、定着を図るようにする。

2. 算数

①領域ごとの結果

- ・「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の4領域において、いずれも全国及び県の平均正答率を下回る結果となった。
- ・特に、「数と計算」の領域において平均正答率が下回っており、根拠をもって式を立てたり、正しい手順で計算したりすることに弱さがみられた。

- ・「データの活用」の領域では、無回答率が高く、問われている内容に合わせて情報を読み取ることに困難さを感じた。

②今後の指導

- ・立式の根拠や式と対応する考え方を答える活動を増やす。
- ・問題場面から情報を整理して、問いの内容を確認する活動を増やす。
- ・習熟の時間を確保し、基礎的な知識及び技能の定着を図る。
- ・自分の考えを式や図を使って記述したり、レポート形式で記述したりする活動を増やす。

3. 質問紙調査

○「あてはまる」と回答した児童の割合が高い質問内容の例

<生活に関わって>

- ・朝食を毎日食べていますか。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・困りごとや不安のある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- ・友達関係に満足していますか。
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

<学習に関わって>

- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- ・学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。
- ・5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになりましたか。
- ・国語の勉強は好きですか。
- ・国語の勉強は大切だと思いますか。
- ・国語の授業の内容はよくわかりますか。
- ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

○今後の指導

- ・「学校に行くのが楽しい」「友達関係に満足している」「困りごと等がある時に、学校にいる大人にいつでも相談できる」等、学校生活において安心感をもって過ごしている児童の割合が、全国や県に比べて高い。これまでも、ふだんの様子やアンケ

ート等から不安や悩みを抱えていないか把握に努め、問題があれば職員が連携して解決に努めてきた。今後もより一層、児童に寄り添った指導に努める。

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に「あてはまる」と回答した児童の割合は、これまでに引き続き高くなっている。学校においては児童会で「あったかハート」の手紙（よいこと見つけ）の取組を行ったり、昼の放送で職員が、竹鼻小児童のよさについて話をしたりして、互いを認めあい、共に高まろうとする雰囲気づくりに努めている。今後も指導を継続する。
- 特に国語の学習が大切だと考え、また、社会に出た時の役に立つと考えている児童が多い。他教科や委員会等の活動で必要な力が、国語の学習と結びついているのではないかと考える。一方で算数の学習は、社会に出た時の役に立つと考えている児童の割合がやや低い。単に知識を習得するだけにとどまらず、見方や考え方を広げ、実生活での活動に生かせるような力の土台を育てる指導を工夫する。